図書館へ行こう！

あけましておめでとうございます

特集『お正月』

今年もあわくら子ども図書館をどうぞよろしくお願いします。みなさんは、どのようなお正月を迎えておられますか？　一年の始まりの行事「お正月」。今月は『お正月』をテーマに、行事の由来、お正月が出てくるお話、おもちつきのお話などを集めてみました。今年も家族みなさんでぜひ図書館をご利用ください。

『10ぴきのかえるのおしょうがつ』
↑気持ちよく冬眠していた10ぴきは、ねずみのもちつきの音で目をさます。そこで、お正月はおもしろいと知った10ぴき。早速自分たちも大そうじから始めます･･･。

『七ふくじんとおしょうがつ』
→七福神てなぁに？ お正月という行事のことや、七福神のことがわかりやすくかいてあります。子供と一緒に勉強になりますよ。そして今年は、おせち料理を食べながらみんなで楽しく話せると楽しい絵本です。

『おもちのきもち』
←「おもちのきもち」なんて、考えたことあります？おもちの気持ちをのぞいてみよう。人気作家さんの、とーってもユニークなお正月にぴったりのお話です。

今月の新着本

一般書

『チッチと子』　石田衣良／著

次に「くる」といわれ続けて10年の万年初版作家・青田耕平は小学生の息子と二人暮らし。将来への不安は募るばかりだが、ついに直木賞の候補に選ばれる。周囲の変化に戸惑う耕平。だが一方で、３年前に不可思議な交通事故で死んだ妻を忘れることができない。「あれはほんとうに事故だったのだろうか」。寂しさから逃れられない父と子がたどり着いた妻の死の真相とは。変わりゆく親子の変わらない愛情を描く、感涙の家族小説。家族の愛情が孤独な魂を包み込む渾身の感動大作。

『ファミリーツリー』　小川　糸／著

家族という木のてっぺんには、いったい何があるのだろう。美しく壮大な自然に囲まれた長野県安曇野。少年は「いとこおば」にあたる同い年の少女に恋をした…。命のきらめきを描き出す、渾身の一作。新しい小川糸がここに。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

えかったでぇ～

あなたのおすすめの１冊!!を紹介します。ペンネームでもok

『神去なあなあ日常』　三浦しをん/著

タイトルの「なあなあ」は、「ゆっくり行こう」とか「まあ落ち着け」と言う意味で、どうも作者の造語らしいのだが、西粟倉よりももっと田舎の神去村にはぴったりです。主人公は、三重県の山奥にある神去村に、高校卒業と同時に放り込まれ、杉と檜の区別も付かないまま、チェーンソー片手に山仕事をすることに。先輩の鉄拳、ダニやヒルの襲来、大変なことばかりだけど、逃げ出したいという気持ちはいつしか薄れ、林業っておもしれ～！と思えるようになってしまいます。携帯は通じなくても、情報はあっという間に駆け巡り、でもそんな煩わしさがいつしか快さに繋がっていく。何だか西粟倉で薄れていったモノが見えるような気がしました。

自然の中で、自然を相手に生業をするのはきびしいこと。でも、だからこそ人と人との繋がりが大切で濃密なものになっていくのではないでしょうか？西粟倉でも、そんな居心地の良さができないものかと思ってしまう一冊でした！　ＰＮ（相澤彰太）

児童書

『だいくのたこ８さん』
内田麟太郎／文・田中六大／絵

こんな大工さんがいたらいいな!!おもしろおしごと絵本。どこにでもありそうで、どこにもない不思議な町で、大活躍の大工のたこ８さんのお話。どんな仕事もまかせときなって！自慢の大工の腕で、おかしな住人のお悩み解決。次々とおもしろハウスを建てていきます。こんな大工さんがいたら楽しいな！子どもたちの職業の夢を広げる、おもしろおしごと絵本。

『であえてほんとうによかった』
宮西達也/作・絵

どんなに乱暴者で、きらわれもののティラノサウルスも、心の奥底には優しさを持っています。ひとりぼっちで生きてきたティラノサウルスが、出会ったちいさな恐竜によってその心をとりもどしていく、心あたたまる愛情物語です。

☆今月のベストセラー☆

１位	『ＳＯＳの猿』	伊坂幸太郎／著
２位	『めくらやなぎと眠る女』	村上春樹／著
３位	『新参者』	東野圭吾／著
４位	『神様のカルテ』	夏川草介／著
５位	『小太郎の左腕』	和田　竜／著

開館時間　10：00～17：00
休 館 日　祝祭日
今月は･･･1月1日～３日(年始)と1月11日

☆問い合わせ先☆
教育委員会内図書係　TEL 79-2216
こ ど も 図 書 館　TEL 79-2116